

ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチン接種の助成が始まります

今回、国のワクチン接種緊急促進事業の開始により、ヒブワクチン（ヘモフィルスインフルエンザ菌b型ワクチン）、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン（ヒトパピローマウイルスワクチン）の予防接種に助成を行います。**平成23年2月1日から適用になり、接種費用を全額助成します。**

これらの予防接種は定期接種ではなく**接種者の保護者の希望により、接種を受けるもの（任意接種）**であり、法律上の義務ではありません。

★Hib（ヒブ）ワクチン ★小児用肺炎球菌ワクチン 接種対象者：生後2カ月～5歳未満の児

日本では、年間約1,000人の子どもたちが細菌性髄膜炎にかかっていると推定されます。その6割がインフルエンザ菌b型（Hib）、約3割が肺炎球菌によるもので、そのうち約5%が死亡、約20%が後遺症を引き起こすといわれています。この2つのワクチンは、接種することで、細菌性髄膜炎の約9割が予防できるといわれています。

★子宮頸がん予防ワクチン 接種対象者：22年度はH6.4.2～H7.4.1生まれの女子を対象

子宮頸がんとは、子宮口の入り口（頸部）にできるがんで、年間約15,000人が発症し、約3,500人が死亡しています。また、20歳代から30歳代の女性に発症するがんの第1位となっています。子宮頸がんの原因は主にヒトパピローマウイルス（以下HPVといいます）による感染と言われ、その中でもHPV「16型」と「18型」が発症原因全体の7割を占めています。このワクチンは、この2つの型の感染を予防しHPVの感染等を予防する効果があるとされています。

<予防接種の受け方>

- ①接種を希望する医療機関に**電話で予約**してください。実施医療機関、接種回数など詳しくは、チラシ、ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。
- ②予防接種についての**説明書をよく読んで**ください。
- ③ワクチン接種の際に、**保護者が予診票に責任をもって記入し、持参**してください。
- ④**母子健康手帳を持参し、予防接種の記録**をしてください。



医療機関	電話番号	ワクチン種別		
		ヒブ	肺炎球菌	子宮頸がん
国見病院	82-1251	○	○	○
堀田医院	82-0490	○	○	○
はるかぜ医院	89-9414	○	○	○
富来K. クリニック	73-3010	○	○	○
国東中央クリニック	73-2200	○	○	○
ふくだクリニック	72-0168	○	○	○
福永胃腸科外科医院	72-3001	○	○	○
橋永医院	72-1158	○	○	○

医療機関	電話番号	ワクチン種別		
		ヒブ	肺炎球菌	子宮頸がん
あおぞら病院	72-0455	—	—	○
あさひクリニック	72-0365	○	○	○
松原医院	68-0010	○	○	○
牛嶋内科・胃腸科クリニック	69-0889	—	—	○
たてわき眼科	69-0111	○	○	○
メープル尽クリニック	67-2800	—	—	○
朝倉内科医院	67-2012	○	○	○
国東市民病院	67-1211	○	○	○

市外医療機関については、下記にお問い合わせください。

お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ!

国東保健センター ☎0978-73-2450

国見総合支所 地域市民健康課 ☎0978-82-1112